

一般社団法人日本老年歯科医学会 2022年度第4回理事会議事録

日時：2022年6月10日（金）11：00～14：00

開場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

出席者

水口俊介 理事長，羽村章 副理事長，片倉朗 副理事長

會田英紀，池邊一典，石黒幸枝，糸田昌隆，岩佐康行，上田貴之，大神浩一郎，大野友久，小笠原正，小野高裕，柏崎晴彦，河相安彦，菊谷武，阪口英夫，佐藤裕二，菅武雄，高橋一也，竹島浩，戸原玄，服部佳功，平野浩彦，弘中祥司，松尾浩一郎，山崎裕，吉田光由，米山武義，渡邊裕 各理事（30名）

山根源之，森戸光彦 各監事（2名）

陪席者

枝広あや子，金澤学，越野寿，菅野亜紀，田中彰，古屋純一 各次期理事（6名）

伊藤誠康，遠藤眞美，大久保真衣，太田緑，岡田和隆，小原由紀，川本章代，貴島真佐子，鈴木啓之，高橋利士，高橋賢晃，田中恭恵，中根綾子，堀一浩，森田一彦，吉見佳那子，竜正大，若杉葉子 各幹事（18名）

奥村拓真，尾立光，白部麻樹，豊下祥史，畑中幸子，古屋裕康，吉岡裕雄，渡邊理沙 各次期幹事（8名）

櫻井薫，山根瞳 各名誉会員（2名）

欠席者

赤松那保，石川健太郎，尾崎研一郎，佐川敬一郎，田村暢章，山添淳一 各幹事（6名）

日高玲奈，森下志穂 次期幹事（2名）

I. 開会の辞

羽村副理事長より，開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

水口理事長より，コロナ渦における学会運営にご協力いただいたところに対して御礼が伝えられるとともに，久しぶりの対面式理事会・学会を楽しみながら，時間を守りつつ慎重に審議を行っていきたい旨が伝えられた。

III. 議長選出

定款第32条に従い，水口理事長が議長として選出された。

IV. 確認事項

1. 定足数の確認〔定款第32条、理事現在数（30名）の2分の1以上の出席〕

上田総務担当理事より，定款第32条、理事現在数（30名）の2分の1以上の29名の出席があり，定足数を満たしていることが報告された。

理事1名が途中入室し、理事会終了時の出席者数は30名となった。

2. 2021年度第14・15回理事会議事録（JSGプラットフォーム参照）
3. 2022年度第1. 2. 3回理事会議事録（JSGプラットフォーム参照）
上記の議事録が承認された。

V. 協議事項

1. 役員等の選任について

1) 代議員の選任について

水口理事長より 2022-2023 年度の代議員の選任について資料を用いて説明がなされ、249 名が 2022-2023 年度の代議員に選出されたことを報告、承認された。

2) 理事の選任について

水口理事長より 2022-2023 年度の理事の選任について資料を用いて説明がなされ、30 名が 2022-2023 年度の理事に選出されたことを報告、承認された。

3) 委員会委員の選任について

水口理事長より 2022-2023 年度の委員会委員一覧について資料を用いて説明がなされ、2022-2023 年度の委員会委員構成が決定したことを報告、承認された。

平野理事より、特任委員会から常設の委員会に変更となる上でなにかの手続きが必要であるかの確認があり、水口理事長より 2022-2023 年度の委員会活動をしていただく中で、ガイドラインなどエビデンスの提出などにより常設の委員会として活動が必要であると判断された場合には常設の委員会への移行を検討する事となるとの回答があった。また、上田理事より委員会数との調整も必要であるのでその点もご理解いただきたい旨が説明された。

4) 支部長の選任について

平野理事より支部長一覧について資料を用いて説明がなされ、各支部支部長が資料の通り理事長により指名された旨を報告、承認された。現在空席の山形支部支部長、京都支部支部長については適任者を検討中であることも併せて説明された。

5) 関係団体役員一覧

水口理事長より 2022-2023 年度の関係団体役員一覧について資料を用いて説明がなされ、2022-2023 年度の関係団体役員が決定したことを報告、承認された。第 35 回学術大会については、山崎常任理事が大会長、會田理事に実行委員長、渡邊理事に準備委員長を担当していただくことが提案され、承認された。

年代別の歯磨剤のフッ素含有量に関するステートメントを口腔衛生学会、歯科保存学会および小児歯科学会と共同で出す予定となっているが、まずは水口理事長を本会の窓口として進めていくことにしており、対応が必要な場合には対応する委員会への協力や関連委員会の立ち上げを依頼する旨が説明され、承認された。

日本在宅歯科医療・介護連携推進連絡協議会の担当について、佐藤理事より学会の任期と一致すべきであれば、在宅歯科医療委員会委員長に引き継ぐのが望ましいとの意見があり、理事長一任という形で検討する旨が承認された。

2. 名誉会員の推薦について

水口理事長より名誉会員の推薦について資料を用いて説明がなされ、角保徳氏、深山治久氏の 2 名を推薦することを報告、承認された。

3. 2021 年度事業報告及び収支決算について

水口理事長より 2021 年度事業報告について資料を用いて説明がなされ、承認された。山崎財務担当理事より収支決算について資料を用いて説明がなされた。また、森戸監事、山根監事より監査報告がなされ、審査の結果問題なく適正な活動がなされていることが報告され、承認された。

4. 2022 年度事業計画及び収支予算について

水口理事長より 2022 年度事業計画（案）について説明がなされ、承認された。山崎財務担当理事より 2022 年度収支予定（案）について資料を用いて説明がなされ、承認された。なお、老人保健推進等事業に関しては通所のみ採択されたため、予算案に変更が生じるが、変更については決算時に反映させる旨の説明がなされ、承認された。

5. 2022年度日本歯科医学会会長賞候補者の推薦について

上田理事より2022年度日本歯科医学会会長賞候補者の推薦について説明がなされ、日本歯科医学会への貢献を考慮した上で、羽村副理事長を推薦することが水口理事長より提案され、承認された。

6. 新規入会者の承認について

上田総務担当理事より新規入会者について資料を用いて説明がなされ、250名の新規入会が承認された。

7. その他

VI. 報告事項

1. 会務報告（水口理事長）

- ・水口理事長より口腔機能低下症についてはワークショップが実施され、明日の学術大会にてシンポジウムがある旨
 - ・オーラルフレイルに関して、日本老年医学会、日本サルコペニア・フレイル学会、本会の3学会合同での議論が進行している旨
 - ・GerodontologyのSpecial issueが発刊した旨
 - ・国民皆歯科検診についても議論が進んでいること
 - ・総合歯科専門医に関しては専門医機構と協議しながら該当学会と連携し制度について協議していくことになっている旨
 - ・歯科訪問診療における感染対策指針など、インパクトの強い指針を本学会から提出することができているため、今後も継続していきたい旨
 - ・ホームページやSNSなど、学会からの情報発信を増強していきたいと考えている旨
- などが報告され、会員のご協力への感謝が述べられた。

米山理事より、国民皆歯科健診に口腔機能低下症も入る可能性があると考えられ、非常に重要な動きであると考えられるため、早い段階での情報共有をしていただきたい旨の意見があり、水口理事長より学会として対応すべき内容であり、情報共有をさせていただきながら学会として検討していきたい旨を回答された。

2. 総務報告

上田総務理事より資料を用いて学会会員人数やその変化、会員構成などについて説明がなされた。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告

池邊理事（学術委員会委員長）より資料を用いて学術委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。

2) 第33回学術大会報告

小野理事（第33回学術大会大会長）より第33回学術大会開催のご挨拶、無事に当日を迎えられたことへの御礼がなされた。また、本学会の開催概要、事前参加登録者数は1660名程度であり約半数は現地参加予定である旨、参加同意書の提出にご協力いただきたい旨が報告された。

3) 第34回学術大会報告

菊谷理事（第34回学術大会大会長）より、第34回学術大会（6月15日～18日、パシフィコ横浜にて開催、7学会合同学会）の概要、開催様式予定（合同シンポジウムは開催予定）、学会間の調整進捗状況、オンデマンドの検討状況などの報告がなされた。また、当日会費の値上げを検討していることも報告がなされた。

佐藤理事より、他学会の学会員が共同演者として参画する場合には会員登録されないといけないのだが、そちらに対する学会としての対応はどうかとの意見があり、上田総務担当理事よ

り、現在は臨時会員登録制度があり、歯科医師もしくは歯科衛生士以外の職種および歯科医師であっても海外の研究期間に所属している者は 7000 円となっている旨の説明がなされ、今後常任理事会および理事会にて更に検討を続けていくことが説明された。

4) IAGG-AOR 2023 報告

松尾理事より IAGG-AOR 2023 (2023 年 6 月 12 日～14 日, パシフィコ横浜にて開催, 大会長: 鳥羽先生, 準備委員長: 荒井先生) の準備状況, 本学会として協力を検討している内容について報告された。IAGG-AOR と老年学会との会計が異なることから, それぞれの学会ごとにスポンサーを探す必要があるため, 各企業へのご協力を, 依頼を検討していただきたい旨の依頼があった。2029 年は IAGG の招致を検討していることも併せて報告された。

5) 第 35 回学術大会報告

山崎理事より (第 35 回学術大会大会長候補) より, 第 35 回学術大会) 大会長としてのご挨拶がなされ, 6 月 28 日～30 日, 札幌コンベンションセンターにて開催予定である旨の説明があった。

6) 令和 3・4 年度 日本歯科医学会プロジェクト研究 中間報告

大野理事より令和 3・4 年度日本歯科医学会プロジェクト研究について 3 つの研究を実施している旨が説明され, その概要および経過が報告された。

7) その他

4. 編集報告

小野理事 (編集委員会委員長) より資料を用いて編集委員会における, 2020-2021 年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項, 2022-2023 年度の活動計画について報告された。

5. 財務報告

山崎理事 (財務委員会委員長) より資料を用いて財務委員会における, 2020-2021 年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項, 2022-2023 年度の活動計画について報告された。

6. 各種委員会 2020-2021 年度活動報告および 2022 年度活動計画

1) 教育委員会

小笠原理事 (教育委員会委員長) より資料を用いて教育委員会における, 2020-2021 年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項が報告され, 會田理事 (次期教育委員会委員長) より 2022-2023 年度の活動計画について報告があり, 歯科衛生士老年歯科医学教育基準案は作成済みである旨の補足がなされた。

2) 社会保険委員会

菊谷理事 (社会保険委員会委員長) より資料を用いて社会保険委員会における, 2020-2021 年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項, 2022-2023 年度の活動計画について報告された。

- ・平野理事より, 早急な対応が必要な場面に備えて, 各委員会からの意見を集約できるようなシステムを作る必要があるのではないかと意見があり, 菊谷理事より今年度は各委員会との連携を強化して対応できるような体制を整えていきたいと考えていることが説明され, 水口理事長より事務局経由にて常任理事会に集約することも検討していることが説明された。

3) ガイドライン委員会

戸原理事 (ガイドライン委員会委員長) より資料を用いてガイドライン委員会における, 2020-2021 年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項, 2022-2023 年度の活動計画について報告された。

4) 在宅歯科医療委員会

佐藤理事(在宅歯科医療委員会委員長)より資料を用いて在宅歯科医療委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項が報告され、古屋新理事(次期在宅歯科医療委員会委員長)より2022-2023年度の活動計画について報告された。

5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会

吉田理事(摂食嚥下リハビリテーション委員会委員長)より資料を用いて摂食嚥下リハビリテーション委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。

6) 国際渉外委員会

松尾理事(国際渉外委員会委員長)より資料を用いて国際渉外委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。また2022年度より国際渉外委員会と学会間連携委員会委員会を一つの委員会として渉外委員会として活動することが報告された。今年度のECGへの参加に対する依頼があり、参加費は無料である旨の補足がなされた。

7) 広報委員会

河相理事(広報委員会委員長)より資料を用いて広報委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。広報委員会にて作成したクリアファイルはSNSをフォローしている来場者に配布予定であることが説明された。各理事へSNSのフォロー依頼がなされた。

8) 研修委員会

竹島理事(研修委員会委員長)より資料を用いて研修委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項が報告され、渡邊理事(次期研修委員会委員長)より2022-2023年度の活動計画について報告された。

9) 学術用語委員会

大神理事(学術用語委員会委員長)より資料を用いて学術用語委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。2023年3月の発刊に向けて老年歯科医学学術用語辞典の編集作業が順調に進んでいることが報告された。

10) 歯科衛生士関連委員会

石黒理事(歯科衛生士関連委員会委員長)より資料を用いて歯科衛生士関連委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項が報告され、菅野新理事(次期歯科衛生士関連委員会委員長)より2022-2023年度の活動計画について報告された。

11) 認定制度委員会

柏崎理事(認定制度委員会委員長)より資料を用いて認定制度委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。

12) 専門医試験問題委員会

高橋理事(専門医試験問題委員会委員長)より資料を用いて専門医試験問題委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。現在代議員に依頼をしている専門医試験問題作問にご協力いただきたい旨の依頼がなされた。

13) 多職種連携委員会

岩佐理事（多職種連携委員会委員長）より資料を用いて多職種連携委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。また、2022年度より地域包括ケア委員会として活動していくことが報告された。

14) 支部・地域保健医療福祉委員会

平野理事（支部・地域保健医療福祉委員会委員長）より資料を用いて支部・地域保健医療福祉委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。また、2022年度より支部運営委員会として活動していくことが報告された。

15) 特任（病院歯科）委員会

大野理事（特任（病院歯科）委員会委員長）より資料を用いて特任（病院歯科）委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。また、2022年度より病院歯科委員会として活動していくことが報告された。

16) 表彰委員会

米山理事（表彰委員会委員長）より資料を用いて表彰委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項が報告され、田中新理事（次期表彰委員会委員長）より2022-2023年度の活動計画について報告された。

17) 規程委員会

阪口理事（規程委員会委員長）より資料を用いて規程委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。

18) 倫理委員会

服部理事（倫理委員会委員長）より資料を用いて倫理委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。

19) 倫理審査委員会

糸田理事（倫理審査委員会委員長）より資料を用いて倫理審査委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項、2022-2023年度の活動計画について報告された。

・戸原理事より、老年歯科医学会主導の研究に参加する場合には、各大学の倫理審査の受講証明書があってもAPRINを改めて受ける必要があったが、そちらは今も同様かとの質問があり、糸田委員長より各大学の倫理審査の受講証明書にて対応可能であるとの回答がなされた。

20) 利益相反委員会

菅理事（利益相反委員会委員長）より資料を用いて利益相反委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項が報告され、越野新理事（次期利益相反委員会委員長）より2022-2023年度の活動計画について報告された。

21) 学会間連携委員会

弘中理事（学会間連携委員会委員長）より資料を用いて学会間連携委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降へ渉外委員会への引き継ぎ事項について報告された。

22) 特任（老健事業）委員会

渡邊理事（特任（老健事業）委員会委員長）より資料を用いて特任（老健事業）委員会における、2020-2021年度の活動報告および次年度以降への引き継ぎ事項（再度採択された場合には特任委員会を立ち上げて活動）について報告された。採択されたことから、2022-2023年度にも継続して事業を実施することが説明された。

23) 特任（認知症）委員会

枝広新理事（特任（認知症）委員会委員長）より資料を用いて特任（認知症）委員会における、2022-2023年度の活動計画について報告された。

7. 日本歯科医学会報告

水口理事長より日本歯科医学会について、第25回日本歯科医学会学術大会の会頭が東京医科歯科大学名誉教授の川口陽子先生になったことが報告された。同学術大会においては、同年（2025年）に開催される大阪万博に日本歯科医学会が協力することになっていることが報告された。

8. 日本歯科医学会連合報告

水口理事長より日本歯科医学会連合については特段報告すべき内容がない旨の報告がなされた。

9. 日本歯学系学会協議会報告

羽村副理事長より日本歯学系学会協議会について、羽村副理事長より、歯学協の理事への推薦に対する御礼とともに理事長に就任することとなったことが報告された。

- ・歯学系学会の連合が3つある（日本歯科医学会、日本歯科医学会連合会、日本歯学系学会協議会）ことから、それらを一つにまとめられるように活動していきたいと考えていることが報告された。
- ・6月21日に共用試験の講演会がWebであるため是非参加していただきたい旨の依頼があった。

10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告

佐藤理事より歯学系学会社会保険委員会連合について、活動報告がなされた。歯科医療協議会に関しても参加している旨、歯科医療協議会から各学会への依頼としてタイムスタディを実施する予定であるため、ご協力をお願いしたい旨が報告された。

11. 日本歯科専門医機構

水口理事長より日本歯科専門医機構における歯科専門医の総合歯科専門医（仮称）について、本会、日本障害者歯科学会、日本有病者歯科医療学会の3学会が連携して検討していくこととなっていることが報告された。専門医制度に対する意見などがあれば、水口理事長、羽村副理事長にお伝えいただくように依頼があった。また総合歯科専門医という名称について、老年歯科・有病者歯科・障害者歯科を対象とするより適切な名称案があればご意見をいただきたい旨の依頼がなされた。

12. 日本老年学会報告

水口理事長より IAGG, IAGG-AOR, 日本老年学会総会について、本理事会にて小野常任理事および松尾理事が説明した内容の通りであることが報告された。

13. その他

森戸監事より、『老年歯科医学』（医歯薬出版）の改訂への御礼がなされた。同書籍を積極的に活用していただければとの依頼があった。

山根監事より、今後の老年歯科医学会をになう理事、幹事への激励の挨拶がなされ、渡邊郁馬初代理事長からの激励のメッセージの代弁がなされた。

櫻井名誉会員、山根名誉会員より激励の挨拶があった。

上田総務担当理事より、今後の理事会予定に関して説明がなされた。12月の理事会については可能であれば対面での開催を検討していることが報告された。

VII. 水口理事長より

水口新理事長より、今後の2年間は老年歯科医療の変革期であるとともに、ベースを強化していく時期であると強く意識しながら、今後学会として活動していくとの決意表明がなされた。

今後も、学会活動へのご協力をお願いしたいとの依頼がなされた。

VIII. 閉会の辞

片倉副理事長より、スムーズな会議運営、積極的な意見交換、学会活動状況に対する御礼とともに、閉会の辞が述べられた。

以上